

2013年 新時代を切り拓く

—九州の産業人—



株式会社 西部技研

代表取締役社長 隈 扶三郎
福岡県古賀市青柳3108-3

新年あけましておめでとうございます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は国内景気も不安定な状況が続く中、欧州の債務危機もあり、身は小さいながらグローバルに事業を行っている弊社にとっても何かと心配の多い一年となりました。しかし、お陰様で日本のみならずスウェーデン、米国、中国の拠点も含め全ての事業会社において、期首に策定した予算を超える結果を残す事ができました。これは従業員一同の不断の努力はもとより、弊社を支えて頂いている皆様方のご指導ご鞭撻のおかげでございます。

今年は一昨年にスタートした中期経営計画「Global.123」の最終年度になります。前年にも増して積極的な事業展開を行って参りますので、引き続きのご支援を賜りますよう、宜しくお願い致します。



株式会社 正興電機製作所

代表取締役社長 井上 信之
福岡市博多区東光2丁目7番25号

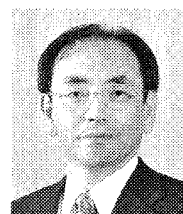
謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

弊社は、「アジアの交流拠点福岡を基盤に、情報と制御の独創技術で環境にやさしく、安全で快適な社会のインフラ構築に貢献する企業」として、無限の可能性を追求し、環境・エネルギーソリューションをテーマとした事業展開に取り組んでおります。

本年は、2期目となります。中期3ヵ年経営計画「CHALLENGE SEIKO IC 2014」のもと、5つの重点課題（「事業戦略」「コア技術戦略」「グループ経営基盤戦略」「人材マネジメント戦略」「CSR経営の推進」）に取り組み、グループ総合力を発揮できる経営基盤を構築し、社会インフラ事業を中核とした高収益企業への変革を目指してまいります。

本年も何卒、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



日本タングステン株式会社

取締役社長 馬場 信哉
福岡市博多区美野島1丁目2番8号

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は欧州の債務問題から世界的に景気の悪化が深刻となり、中国やインドなど新興国の経済成長が減速し、日本も7-9月期以降GDP成長率がマイナスに転じました。世界的な金融不安や円高の長期化、領土問題、電力問題など多くの懸案事項を抱え、当面は予断を許さない状況が続くものと思われま。

当社グループは、グローバルなお客様や社会に貢献するために、新技術新商品の創出、ものづくりの強化、人材の育成を経営ビジョンとして掲げ、企業価値の向上を目指して全社一丸となって挑戦を続けてまいります。

本年も何卒、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



西部電機株式会社

取締役社長 木村 鰐
福岡県古賀市駅東三丁目3番1号

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災後の復興需要がありましたものの、長期化する欧州の債務問題や円高に加え、世界経済の減速などの懸念材料を抱え、先行き不透明な状況が続いております。

当社はこの先行き厳しい環境が想定される中、中期経営計画「SAP 12」の最終年度であり、どのような環境下でありましても「商品力の向上」、「販売力の強化」によって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜き所存であります。さらにはコストダウンや経費削減に一層注力し、企業体質の強化と着実な安定成長の確保に努めてまいります。

本年も何卒、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



昭和鉄工株式会社

代表取締役社長 山本 駿一
福岡市東区箱崎ふ頭三丁目1番35号

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社の歴史は「熱」への挑戦から始まり、今年創業130周年を迎えます。これもひとえに皆さまの永年にわたるご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

今年の見通しとして、自民党の政権奪還により決められない政治からの脱却と経済対策に大きく期待するところですが、長引く円高やエネルギー問題などもあり、経営環境は予断を許さない状況が続くものと予想されます。

平成26年3月期を最終年度とする中期経営計画「リカバリー130」を確かなものとするためにも、基本方針である「ベースの安定化」及び「新規事業の足掛かりの構築」を目指し、重点課題である「差別化した製品の拡販」に努めるとともに、「財務体質の改善」、「リスクアセスメントの充実」、「人材の活性化」、「CSRの推進」に全社一丸となって取り組んでまいります。

本年も何卒、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新たな時代への一步

我が国産業界は、震災による甚大な被害、その後のエネルギー問題に直面し、復興への道を模索しております。

これまでも幾多の難局に直面しながら、卓越したモノづくりと技術力で乗り越えてきました。

今後も環境、安全、品質に対する要求が一層高まる中、いままで以上の「知力」と「創造力」を結集し、エネルギー問題に立ち向かい、新たな技術・製品・サービスの開発により、未来を切り開いていくことでしょう。